

おみくじを結ぶ二人の肩ふれる
 西町 金澤 頼子
 初春や身の丈三昧細やかに
 緑町 齋藤 嘉子
 元旦や和服の夫は客の顔
 元町 印牧 安子
 天と地に別れし縁屠蘇祝ふ
 仲町 坂部 和子
 初暦孫のくる日を記すかな
 元町 西崎 弘子
 初電話襟を正して声を出す
 屯田町 古屋 克江
 母屋点々とんでん沃野冬ごもる
 仲町 玉野 研一
 賀状書く減りゆく友を偲びつつ
 元町 竹内スミエ
 涙する天災地変師走来る
 南桜町 宮腰 幸子
 過ぎし日の思ひをつづる師走かな
 仲町 梅基 敬子
 街並のイルミネーション師走風
 屯田町 伊藤 タカ
 自分史の年輪捲る夜長かな
 旭町 大河 茂
 年の瀬や八十路の仕事遅々として
 西岡町 渋谷みさ子
 葉三つ増やして忙し十二月
 仲町 徳井 隆男

歌よりも姿気になる忘年会
 旭町 宝澤 房子
 争はぬひそかな誇り冬木立
 藤本町 池田 良子
 なせばなる心一つに春を待つ
 西町 小島アキ子
 初雪に今朝の不安をけしにけり
 西町 岸波 君江
 生きのびしことの幸せ年送る
 元町 佐藤 晴風
 冬の花白一色と言う自由
 元町 鹿野登美子
 立ち寄りて深紅の小菊みほれけり
 藤本町 高井 孝子
 初雪が片晴の空から降りぬ
 東町 高草木喜代子
 風の中夫の顔に頬被り
 東町 高橋世津子
 冬めきぬ四国巡りによいしれり
 西岡町 高瀬久美子
 明日の日に希望を託す大晦日
 西町 文梨 清子
 白鳥の声だけ渡る闇の空
 西町 前橋 芳香
 冬のバラ咲いて茶席に外国の妃
 旭町 大河内清枝
 飛車道のごとく来し方去年今年
 仲町 芳賀 星子

information 絵本の館から



108匹きめのひつじ

いまい あやの 文・絵
文溪堂

どうしても眠れない夜、皆さんはどうしていまあか？手足をあたためたり、ストレッチをしたりと、いろいろ方法があるようですが、メイちゃんが選んだのは、「ひつじを数える」こと。さて、何匹数えたら眠れるのでしょうか？108匹も数えたら、夜が明けてしまいそうです。



つぽい

ピーター・レイハズ 文・絵
主婦の友社

誰もが『うまい!』とほめるような絵や文章をこころとあると、気が張ってどうしても手や脳が固まってしまう。大切なのは自分の思いを表現すること、とこの絵本は教えてくれます。著名な作家さんのように、気持ちを作品にぶつけられたら、人の心を動かせるものが出来るのでしょうか。

今月のおすすめ絵本

新着図書

- ・宇宙の誕生
ルーシー&スティーブン・ホーキンス 著
- ・境遇 湊かなえ 著
- ・母のまなざし 父のまなざし
いわさきちひろ ほか 著 ほか